

クリーン開発と気候に関するアジア太平洋パートナーシップ（ＡＰＰ）  
第五回政策実施委員会（ＰＩＣ）  
- 概要と評価 -

２００８年５月２０日  
日本政府代表団

会議概要

- (1) 日時：２００８年５月１９日（月）～２０日（火）
- (2) 場所：米国・シアトル
- (3) 参加者：我が国をはじめ、豪州、カナダ、中国、インド、韓国及び米国の  
７ヶ国から、外務、エネルギー及び環境などの政府関係者及び民間関係者  
が出席。我が国からは、小町外務省地球環境問題担当大使、本部経済産業  
大臣官房審議官、島田環境省国際調整官、国土交通省担当官及び自動車業  
界関係者他が出席した。各国からの主な出席者は別紙のとおり。

主要議事と結果

- (1) 我が国から「道路交通セクター」タスクフォースの設置を提案したところ、  
本年秋に予定されている次回ＰＩＣよりも前に、我が国がワークショップを  
主催し更に検討を深めることで合意された。
  - （注１）ＡＰＰの既存の８タスクフォースに「道路交通分野」が加わると、  
７ヶ国のＣＯ２総排出量に占める「８＋１」セクターの合計は、約８  
０％を占めるに至る。
  - （注２）我が国の提案内容：  
道路交通分野のＣＯ２排出削減には、自動車の燃費改善のみなら  
ず、燃料対策、交通流対策、ユーザー対策に総合的に取り組むことが  
効果的。同タスクフォースにおいては、各国がこうしたベストプラク  
ティスを持ち寄り、共有することで、各国の道路交通分野の排出削減  
を目指す。
- (2) カナダは次回ＰＩＣを本年秋に西海岸で、豪州は２００９年前半の次々回  
ＰＩＣを、中国は２００９年に予定されている閣僚会合を、それぞれホスト  
する旨表明した。
- (3) ８つのタスクフォースの議長等からフラッグシッププロジェクト<sup>（注）</sup>等の  
進捗状況について説明し意見交換を行った。
  - （注３）フラッグシッププロジェクトとは、各タスクフォースが実施して  
いるプロジェクトの中で特に象徴的なプロジェクトであって、昨年  
秋に開催された閣僚会合で承認された１８のプロジェクト。
- (4) 我が国が議長を務める鉄鋼及びセメントのタスクフォースについては、ベ  
ンチマークを設定しつつ技術普及を図るアプローチの重要性を説明。前者  
（「ベンチマーク」）に関しては Best Available Technologies の特定、デ

ータコレクション及びベンチマークの設定が具体的な活動であること、後者（「技術普及」）については、省エネ診断を中国及びインドに対して実施し、今後も継続実施することを強調。ベンチマークと技術普及をプロジェクトの両輪として進めている二つのタスクフォースの活動について、各国から肯定的な評価があった。なお、これまで空席であったセメントタスクフォースの副議長について、カナダが立候補したのに対し各国が同意し全会一致で承認された。

(5) その他

アルミニウム・タスクフォースについては、先週、ケープタウン（南ア）で開催された会合における結果として、新たなベンチマークの設定や技術協力の進展状況について説明があった。

電気機器タスクフォースに係る議論の際、我が方より、電気冷蔵庫のエネルギー消費効率の算定方法の国際調和について、IEC（International Electro-technical Commission：国際電気標準会議）の場でA P P 7ヶ国が協力して対応している旨を補足説明。

発電及び送電タスクフォースに関しては、我が国及び米国が中心となって取り組んでいるピアレビューの進捗状況について重点的に説明された。

評価
----

- (1) 道路交通セクターについては、各国とも二酸化炭素の総排出量に占めるウェイトが高く、各国から重要性についての認識が表明された。今次会合において、議論が開始される道筋を得たことは成果であり、我が国が指向する「セクター別アプローチ」の推進に弾みを得るもの。ワークショップでの議論を通じ、当該セクターにおいて、官民パートナーシップのもとで実効的かつ実践的な取組がなされることが期待される。
- (2) 2009年に中国が次回閣僚会合をホストする等各国から会合主催の意思が表明されたことは、セクター別アプローチを実践しているA P P活動の来年以降の継続に対する積極的なシグナルとして受け止められる。
- (3) 我が国が議長を務める鉄鋼及びセメントタスクフォースについては、データ収集、将来指標の策定、省エネ診断の実施等、セクターにおける先駆的な取組が実践されている事例として、各国に評価された。今後も、セクター別アプローチの好例としプロジェクトを着実に前進させることが重要。
- (4) アルミニウム・タスクフォースも鉄鋼及びセメントと同様の取組を推進し、ケープタウン（南ア）で先週開催された会合での取組等が評価された。
- (5) 電気冷蔵庫のエネルギー消費効率の算定方法の国際調和について、IECの場でA P P 7ヶ国が協力して取り組んでいる状況は、A P Pの好ましい事例の一つとして評価された。
- (6) 発電及び送電タスクフォースが実施しているピアレビューについては、技術普及のための有効な手段として評価された。

( 別紙 )

APP Policy and Implementation Committee 各国代表出席者

< オーストラリア >

Jan Adams 気候変動省 環境大使  
Drew Clarke 資源エネルギー観光省 Deputy Secretary  
Stephen Oxley 環境水資源灌漑芸術省 Assistant Secretary

< カナダ >

David McGovern 環境省国際局 Assistant Deputy Minister  
Glenn MacDonell 産業省環境産業部 Director  
Ravi Singh 天然資源省 Senior Policy Advisor

< 中国 >

Guangsheng Gao 国家発展改革委員会国会気候変動調整委員会 Director-General  
Hairan Gao 国家発展改革委員会国会気候変動調整委員会  
Xiangfeng Li 外務省条約法局 Second Secretary

< インド >

Rajani R. 環境森林省 Joint Secretary  
R.K. Sethi 環境森林省 Director  
Dinesh Patnaik 外務省 Director

< 日本 >

小町 恭士 外務省 地球環境問題担当大使  
本部 和彦 経済産業省 大臣官房審議官 ( エネルギー・環境担当 )  
島田 久仁彦 環境省地球環境局 国際調整官

< 韓国 >

Rae-kwon 外務貿易省 気候変動大使  
Yu-jin Ha 知識経済省 Deputy Director  
Jang-won Lee 環境省 Deputy Director

< 米国 >

Harlan Watson 国務省 Senior Climate Negotiator (議長)  
Trigg Talley 国務省地球環境室 Director  
Mark Ginsberg エネルギー省 Senior Executive  
Andrew Fanara 環境保護庁 Energy Star Products Team Leader  
Les Williamson 商務省 Senior Advisor